

阿久比高校の環境整備を

阿久比町にとって大切な高校



大村 文俊 議員



夕方の阿久比高校通学路



英保育園廊下



はぐみんパンフレット

Q 町民が願いを込めた誘致運動の熱意で開校し、町民の総意で存続の危機を乗り越えて、創立30周年を迎えた阿久比高校の環境整備について伺う。

A ①阿久比高校は、町内小中学校とも連携しており、町にとって大切な学校と考えています。

- ②殿越川上流の橋から正門入り口までは、外側線等で交通安全対策を検討します。
- ③現地を調査し、予算の範囲内で検討していく。
- ④この地域の土地改良事業計画ができた時点で、都市計画道路の事業計画にあわせて整備をします。
- ⑤現在設置は考えていない。個人用防犯ブザーの活用を。

- ①阿久比町にとっての阿久比高校とは。
- ②通学路の歩道整備を。
- ③通学路に防犯灯増設を。
- ④大型バスが、校内に入できるように道路整備を。
- ⑤緊急時非常用防犯ブザーの設置を。

保育施策と統廃合への取り組み

「保育所統廃合検討委員会」設置

Q 多様な保育ニーズに柔軟に対応する取り組みと英比学区内の3保育園統廃合計画の今後は。

A ①町内4小学校区ごとに1ヶ所実施している。

- ②町内8保育園で協力しながら継続する。
- ③老朽化が進行していることは認識している。保護者の意見を聞き検討を加える。
- ④平成21年度に「保育所統廃合検討委員会」を設置し、そこで検討報告書にまとめる。その後「保育所運営審議会」へ諮問し、答申をいただく予定である。
- ⑤発達障害児のための療育は必要と認識している。町内8保育園で協力して取り組んでいく。
- ⑥商工会等へ相談しながら検討する。

- ①延長保育の実情は。
- ②乳幼児・障がい児・一時保育への取り組みは。
- ③園舎耐震の認識と現状の判断は。
- ④今後の3保育園統廃合計画の具体的な内容は。
- ⑤療育に取り組む保育園体制づくりを。
- ⑥はぐみんカードの実施を。